

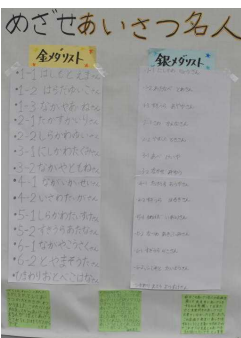
豊坂っ子通信

令和2年度
豊坂小校長室だより
R3・1・29
No. 15
発行 本多 宣子

めざせ！あいさつ名人～金メダル・銀メダル～



マスク着用、大きな声を控えている今年度は、例年のように代表委員会が児童玄関に立って呼びかける「あいさつ運動」ができない日が続いています。そこで、「今年度ならでは」の工夫を代表委員が考え、「あいさつ名人」に取り組みました。素敵なあいさつをしている子を各学級で選出し、金メダル・銀メダルを代表委員より贈りました。そして、廊下や階段にメダルをもらったメダリストを掲示しています（左写真）。廊下で出会ったら「こんにちは」、帰りも「さようなら」と常に自然なあいさつができるメダリストたち。このメダリストたちをめざし、同じようにあいさつができる子が増えてきたように感じます。代表委員会の子たちがこの企画をふり返り、思いをメッセージで伝えました。その一部を紹介します。



・ぼくは、あいさつ名人のきかくをやって、みんなの声が大きくなったり、目を見てあいさつをする人が多くなったので、このきかくをやってよかったと思いました。でも、少しだけあいさつのポイントを守れていない人がいたので、もっと全校にあいさつを広げていきたいと思いました。（4年 天野敬太）

また、この機会をとらえ、テレビ朝会で私から全校のあいさつの様子を話しました。朝、横断歩道に立っている私に、「おはようございます」と、顔を見てあい

・わたしは、あいさつ名人をやって、金メダリストと銀メダリスト以外でも自分からあいさつができる人がとても増えたなあと思いました。朝、いつもあいさつをしてくれなかった子も自分からあいさつをしてくれて、とてもいいと思いました。（5年 鈴木美月）

さつしてくれる子が多くてとてもうれしいこと、その中でのもっとも素敵なあいさつの様子を紹介しました。それは、私にあいさつをした後、横断歩道の反対側に立っていただいている見守り隊の方にもあいさつをする声がしっかり聞こえてくる子が何人もいることです。その姿を伝えるために、パペットの牛さんと教員・見守り隊の方の帽子を使って話しました。

・わたしは、このあいさつ名人の企画を通して、先生方にあいさつをするのは意識してできたけれど、友達同士のあいさつはできていなかったと思いました。この企画で先生にあいさつをすることを身につけられたので、これからは友達とのあいさつも当たり前前にはしたいです。（6年 丸山夏葵）

するとその翌朝、横断歩道に立っている私への声はさらに大きくなり、反対側に立っていただける見守り隊の方への声が増え、一人一人にあいさつする子たちの姿が見られました。朝会話を聞いて、心で受け止め、すぐ実行する豊坂っ子たちに大変感心しました。



今、子どもたちのあいさつの声は広がっています。私は、毎日子どもたちの顔を見て、あいさつをすることを楽しんでます。マスクで表情が見えづらくても顔を見て声を聴くことで、今日もとても元気なことや、楽しいことがあったような様子、少し体調がよくないかななどが伝わってくる気がします。是非、ご家庭でも子どもとのあいさつを楽しみ、ご家庭・地域へ広めてください。

1月のことわざを紹介します。「和顔愛語」《わげん（わがん）あいご》です。

「和顔」は、おだやかでやさしい表情。「愛語」は、親愛の気持ちがかもった心やさしい言葉

です。つまり、「和顔愛語」は、和やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接するふるまいという意味です。とても素敵な四字熟語ですね。私の大好きな言葉であり、目指したいです。



“字は体を表す” 力強く落ち着いた今年のスタート



1月2日は事始めという物事を始めるのによい日とされています。そこで、本校においても例年3学期の始業式翌日2日目に、書き初め会を行っています。



書き初めで1年の抱負や目標を文字にし、精進するとその年はよい年になるとも言われています。

今年の書き初めを書く子どもたちは、一段と静かに落ち着いた雰囲気の中で取り組むことができました。そして、掲示された書き初め展には、大変力強さを感じる作品が多く見られました。



“字は体を表す”という言葉もあるように、書き初め会の字から、このコロナ禍においても、豊坂っ子たちは力強く落ち着いてスタートできたことを感じます。令和3年も、とてもよい年になりそうです。全校で、力を合わせて頑張っていきたいと思います。

とても上手になったね 短なわとび



今年のなわとび週間は、短なわとびに取り組みました。なわとび大会に向け、朝から放課には運動場で短なわとびに向かう姿が多く見られました。なわとび練習台を使って練習する子も見られ、どんどん上達している様子うかがえました。こうした放課の子どもたちの中に、1年生が上手に二重跳びを跳んでいる姿を見つけました。そっと数えてみると20…30…と跳んでいます。大変驚き、その子たちに話を聞きました。



すると、休校中に家で練習したことや、近くの公園で上級生や友達と一緒に練習したことなどを教えてくれました。素晴らしいことですね。

今週、各学年で体育の時間に実施した短なわとび大会。どの学年も跳び方がよく、とても上手になったように感じました。



予告なしの避難訓練も落ち着いて



3学期の地震避難訓練は、お昼の放課に予告なしにて実施しました。教室から離れていたたり、近くに担任がいなかったりした状況でも、周囲の子や教員と落ち着いて、まずは体を低くし頭を守るシェイクアウトの姿勢をとることができました。

その後、運動場へ避難する指示の放送を聞き、頭を守りながら安全に避難しました。

この数日後、誤作動により火災ベルが鳴ったことがありました。その際も子どもたちは落ち着いた動きができており、頼もしさを感じました。



今週の給食は、全国学校給食週間愛知の郷土料理献立です。火曜日は、お楽しみ「うなぎどんぶり」でした。うなぎは、県水産物推進事業として無償でいただいたものです。刻んであるうなぎの蒲焼きをごはんののせておいしくいただきました。



おいしくてますます元気になりました。